

私とあなたの意識改革

～食品ロス削減に私たちができること～

Change in Our Awareness
～What We Can Do to Reduce Food Loss～

チームささばん

学生氏名：黒木利奈¹⁾，清水こころ¹⁾，萩拓郎¹⁾，神宮奈実¹⁾，寺本美乃梨¹⁾，市村建人¹⁾
指導教員 半田英俊，研究協力者：冨澤剛²⁾，高木洋人³⁾ 他³⁾

- 1) 杏林大学 総合政策学部 総合政策学科 半田研究室 2) 冨澤ファーム
3) 三鷹市社会福祉協議会

キーワード：ミールキット，食品ロス，ノーフードロス，フードバンク，フードシェアリング

1. 研究背景と目的

私たちの研究室では、身近な社会問題をテーマとして研究を進めてきたため、今回、このチームでは、食品ロスの問題を取り上げた。食品ロスの分類の中でも、特にまだ食べることのできる食材が廃棄されてきた現状に着目をして、廃棄食材の有効利用を目指すことを目的とした。

2. 食品ロスとは

食品ロスとは、①スーパーマーケットやコンビニエンスストアでの売れ残り、②飲食店や家庭での食べ残し、③賞味期限切れの食品など、④規格外品として売ることが出来なかった農作物など、本来は食べることができたはずの食品が廃棄されることを言う。私たちは、特に④について着目し、農家の食品ロスを削減できないかと考え、八王子市・全国における食品ロスの規模を調査・比較した。

2.1 日本全国、八王子の食品ロス

日本では、年間約637万トンの食品ロスが発生している。大型トラック(10トン)に例えると、毎日、約1740台分のロスが出ていることになる。

また、今大会の開催地である八王子市の食品ロスは、年間約1.5万トンとなっている。私たち学生には到底想像がつかない数字であるが、毎日、

大型トラック(10トン)約4.1台分の食品が廃棄されていることになる。

2.2 過程別の食品ロス

食品ロスがおこる過程は主に2つあり、1つ目が生産・加工・小売での廃棄・損失、2つ目が消費での廃棄・損失となる。1つ目の生産・加工・小売については、食品メーカー・卸売店・小売店では、規格外品、加工残差が89%とほとんどを占めている。2つ目の消費については、過剰除去が55%と過半数を占めている。食べ残しが57%と過半数を占めている。

2.3 食品ロスの対策

①官民一体の対策

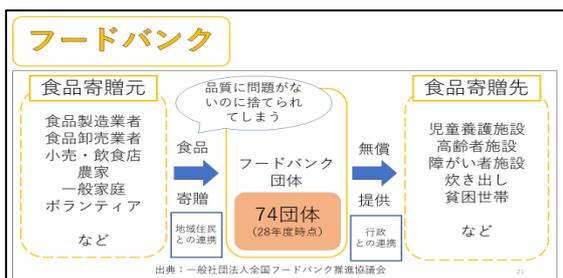
政府の食品ロス対策として、フードチェーン全体で取り組んでいくことを目的に、官庁と民間が連携して、国民運動を展開している。この取り組みは、資源を無駄なく効率的に活用するフードチェーン作りを進め、経済成長に貢献することと、「もったいない」発祥国として世界に日本の取り組みを発信することを目的としている。

まず、製造・流通の面では、新技術の評価と本格的導入に向けた手始めとして、非常に一般的な方法のことであるパイロットプロジェクトや、外食の際の食べきり運動を実施している。これらを含めノーフードロスプロジェクトと呼んでいる。

②民間の政策

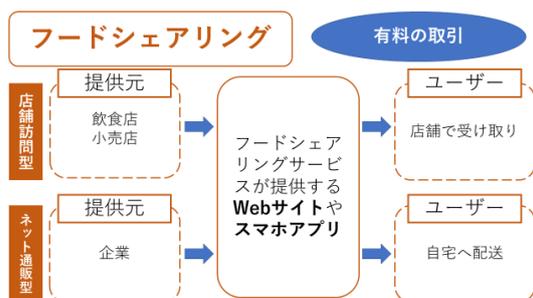
i. フードバンク

包装破損や印字ミスなどにより、提供が難しくなった食品を業者から寄贈してもらい、フードバンクは必要としている団体に無償で提供おこなう。この過程でフードバンク団体が両者の仲介の役割を担い、地域住民と行政と連携して行っている。



ii. フードシェアリング

店舗訪問型とネット通販型の2つがあり、提供元である飲食店や企業が、残ったり余ったりした食品をwebサイトやスマートフォンアプリを介して、必要とする利用者に定価より安く有料で提供している。



3. プロジェクト

以上の食品ロスの現状から、私たちはミールキットによる食品ロスの削減を提案する。

・ミールキットとは

カット済みの食品と調味料をレシピと共に利用者の元まで有料で直接届ける仕組みの事で、すでにいくつかの宅配サービス業者が行っている。

3.1 プロジェクト結果

以前、このミールキットを三鷹市社会福祉協議会の方々や農家を営んでいる冨澤さんと協力し、廃棄前の食材でミールキットにして、本学の1人暮らしの大学生に配布した。この、ミールキットを作成し配布したことで、およそ5.1kg分の野菜を廃棄されずに済んだ。

3.2 結果予測

今回はプレゼンの開催地でもあり、農業生産高都内1位である八王子市では野菜の廃棄量も多いと考えられ、野菜の廃棄量はどれほど削減できるかについて考えた。

三鷹市と同じように5.1kg分の野菜が1つの農家で廃棄が削減されると考えた時に、八王子市では、野菜を作っている農家が283戸ある。これに5.1kgを掛けてみると、約1443kgの野菜廃棄量が削減されると結論づけることができた。

3.3 結果予測から考えられること

人間の1日の野菜必要摂取量が350gであり、350gで1443kgを割ると4122gという数字がでる。これは、八王子市民の4122人が1日で必要とする野菜の量に相当する。

以上のような活動を広げていくことで、八王子市において、食品ロスを少しでも減らしていきたいと考えている。

<参考資料>

・参考文献
「食品ロスとは」『農林水産省』ホームページ
(http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_4.html)

「[食品ロス削減] 食べもののムダをなくそうプロジェクト」『消費者庁』ホームページ
(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/) など